

企業名 東北サファリグループ
代表者 熊久保 勲夫
所在地 二本松市沢松倉1番地
電話番号 0243 - 24 - 2336
ホームページ <http://www.tohoku-safaripark.co.jp/>
事業内容 観賞用牧場・競走馬の生産飼育、販売及び訓練並びに出走・会員制スポーツクラブ・動物の曲芸、移動動物園及び動物ショー開催並びに企画・ホテル及び食堂・不動産の賃貸・スキー場、石油製品販売
主要取引先 教育委員会・福祉協議会・修学旅行者一般顧客
社訓 ・頭を使って知恵を出せ、
 ・知恵を出せない者は、体を使って汗を出せ。
 ・汗も出せない者は、サファリグループから黙って去れ！

企業の特徴

当グループは、えびす高原牧場を母体として昭和46年に発足し、翌47年に法人組織に変更、同時にグループの進むべき道を決めました。レクリエーション・レジャー産業を開拓、発展させるパイオニアとして地元産業界はもとより地域社会の発展成長を加味しつつ、その目標、役割を果たそうと社員一同日々邁進しました。その結果、昭和52年に東北サファリパークを全社一丸となって設立。本格的なグループのスタートを切ったのです。

生活の向上は益々多様化、加えて週休2日制へと社会は変革、人々はレジャーの多様化を要求することになってまいりました。要求するということは、レジャーそのものを左右する程重要になってまいりました。

こうした状況の中、那須サファリパーク、岳温泉バードランド・熱帯ワニ園と次々にオープン、東北地方の気象条件の中で熱帯性動物等を飼育するという快挙を成し遂げてまいりました。

他方では、各地方都市での教育委員会、福祉協議会、著名企業の後援のもと社会福祉事業として「移動動物園」「世界恐竜博」の運営とグループは順調に実績をあげてまいりました。

そして、平成8年4月には世界の猿を集めた那須ワールドモンキーパークをオープン。開園にあたり中国政府より、中国・国宝級幻の黄金猿「金絲猴」が日中友好親善として貸与される栄誉を賜りました。

また、近年のモータリゼーションの進歩、発展とともにRV・4×4が主流、グループでは高原牧場に、モトクロスコースをオープン、2輪モトクロスを手始めに次々とコースを拡充し昭和63年にエビスサーキットレーシングロードコースを開設、MFJ・JAF公認コースとして東北地区大会、全国大

会と年々大会を開催し、現在モータースポーツファンにエビスロードコースとして親しまれています。各種ロードコース、モトクロスコース等大小5コースが同地区にある所は世界的にみてもエビスサーキットだけです。

冬期間には二本松塩沢スキー場を塩沢温泉峡にオープン、近郊のスキーヤーをはじめ県外からの利用客も増え、またスキー大会やスキー修学旅行等のイベントで年々知名度をあげてまいりました。

このような状況の中総合レジャー施設として宿泊設備の充実にも力をいれてまいりました。

このように目標に向かって実績をあげてまいりましたが、このことに奢ることなく、初心を忘れることなく決意を新たにグループ社員一同鋭意努力してまいりたいと思っております。

